

もおかの人と人をつなぐ広報誌

コラボ!

第42号

2019.7

真岡市市民活動推進センター コラボレもおか 【運営団体】特定非営利活動法人ま・わ・た

特集

第8回真岡コラボまつりを振り返って

6/2(日)、快適な陽気の中、コラボレもおか利用者協議会・最大のイベント「第8回真岡コラボまつり」が今年も盛大に行われました。

平成から令和に元号が変わり、コラボレもおかにとっても新時代に向けて動き出すはじめの一歩として意味の大きいイベントでした。

1,000人を超える参加者が集まり、会場となった二宮コミュニティセンター各所では老若男女、たくさんの方々と賑わいました。

今回のコラボ!では、そんな「第8回真岡コラボまつり」を写真とともに振り返ってみようと思います。



第8回 真岡 コラボまつり





Lookback コラボまつり!

ミュージックステージ・ダンスステージ

コロボまつりの花形といえるほど毎年、多くの方々が来場して耳を澄まし、目を輝かせるのがこの2つのステージです。

ダンスステージは可愛らしい小さなフラ・ダンサーたちの踊りから味わい深い舞踊など、聞く人、見る人を満足させるとても素晴らしいステージでした。

ミュージックステージはハワイアンやラテン音楽、尺八からオカリナ演奏までコロボまつりならではの多種多様なステージでとても盛り上がりました。初めての屋外開催は、皆さんに広く楽しんでもらえました。



コラボミュージアム

屋内では、市民活動団体による活動紹介・作品展示・体験コーナーが催されました。

1階市民ホールには勇壮な竹はり画と可憐な絵てがみが展示され、多くの来場者が立ち止まってじっくりと作品を眺めていました。また、ガールスカウトによる活動紹介も目を引いていました。

2階には、エコクイズ・CDクラフト・点訳・押し花づくり・手話・健康チェック体験などたくさんの体験コーナーや展示、活動紹介があり、大人も子どもも一緒に楽しんでいました。



コラボバザール・アトラクション

屋外では恒例の模擬店が軒を連ねました。カレー、そば、焼き鳥、ピーナッツごはんなどバラエティーにとんだメニューが店頭に並び、ステージから聞こえてくる音楽を楽しみながら、おいしいご飯に舌鼓を打っていました。また、雑貨や手作りアクセサリー類の販売、クラフトテープを使ったワークショップなども開催し、皆さんの目を引いていました。

アトラクションは、グラウンド・ゴルフ体験や手型づくりがありました。また今年もゆるキャラたちが参加し、場を盛り上げてくれました。



ボランティアチーム

コロボまつりを運営する上でとても大切な存在。それがセンター登録者や高校生を中心としたボランティアチームです。まつり前日からの準備はもちろん、当日は駐車場の誘導、アトラクションや各班のお手伝い、片付けまでたくさんの事柄に臨機応変に対応してもらい、毎年助けられている心強い存在です。

特に今年は真岡工業高校の生徒さんに加え、真岡北陵高校の生徒さんも参加してくれました。若い力を大いに発揮し、まつりの盛り上げに一役買ってもらいました。



今年も参加者の皆さん、ボランティアチームの皆さん、それに関係各所の皆さんの協力のおかげで盛大にまつりを催すことができました。令和の新時代を飾るにふさわしいイベントだったのではないのでしょうか。この連帯感を忘れず、新しい一歩を皆さんと共に歩んでいければと思います。

活動報告

第62回こらぼ茶話 楽しくつくるカワイイいちごのエコバッグ

3/2 土

第62回となるこらぼ茶話はこれまでと少し趣を変え、市や県の協力のもと真岡のいちごのPRを兼ねてエコバッグづくりを開催しました。

手軽に体験できることから近年人気の「シルクスクリーン」という手法を用い、スーパー・コンビニのレジ袋の有料化に伴い需要が高まるエコバックに、いちごをモチーフにした市や県、センターのキャラクター等を印刷しました。

参加者の皆さんは、はじめての経験で四苦八苦していましたが、とても楽しそうに体験していました。

皆さんキレイに印刷ができ、満足できるエコバックが完成した様子でした。

(参加者13名)



ボランティア研修講座

3/13 水

ボランティア連絡協議会との共催で、ボランティアの皆さんと日ごろの活動や団体運営の悩みについて共有し、考える研修を真岡市総合福祉保健センターで実施しました。

アイズブレイクののちに、各自の困りごとを共有する「困ってますシート」を作成しました。「予算がない」「メンバーの高齢化」「PRがうまくいかない」などの意見が挙がりました。続いて、困りごとの解決策を考え、「これならどうだシート」を作成しました。こちらでは「寄附金や自主財源の確保」「PR方法の拡充」「SNSなど新しい連絡網」といった意見が見られました。

課題を共有し考えることで、解決の糸口を見つけられたのではないのでしょうか。

今回の研修の結果をもとに、センターも皆さんの課題解決のお手伝いをしていければと思います。

(参加者9名)



センターより

市民活動ガイドブックvol.2 こらぼ帖 発行

本広報誌では、刊行当初よりシリーズ記事「登録団体紹介」を掲載しています。

平成26年度にはそれまで掲載されてきた団体を主に、48の団体をまとめた「市民活動団体ガイドブックCivic Activity Organization48 (略称CAO48)」を発行しました。

また、平成30年1月にはセンター設立10周年という節目を迎えたこともあり、広報誌において紹介した団体をまとめ、さらに多くの団体の紹介記事を掲載した2冊目のガイドブックを発行することになりました。

「市民活動ガイドブックvol.2 こらぼ帖」

ぜひ、お手にとってご覧ください。



新規 団体 紹介 (4月現在)

団体名	主な活動内容
アトリエ日和	ガラス(スタンドグラス等)と絵画の指導
カンターレにのみや	オカリナ演奏のボランティアでのイベント出演など

登録団体紹介

クレヨン

私たちクレヨンは、素敵な想いを込め絵手紙を書いてみたいと経験者を中心にはじめました。

気楽に、無理せず、月2回水曜日の午後楽しく練習しています。

各自の庭の花や、季節の野菜や果物等、身の回りにある物をモチーフにして、じっくりながめながら書きはじめ、「良い色が出せないわ」「よく観察するようになったわね」「脳の活性化にもなってる気がする」等おしゃべりしています。

今年は心に浮んだことばも書けるようになりたいです。

代表：高山 ミナ子



とちぎ暮らしネットワーク

県内には、東日本大震災以降避難している方が今も2,869人います。（復興庁H31.1.10発表）

私たちは、絵手紙や手芸の講師・保健師や運動指導士など会員の専門性や特技を生かし、県内各地で避難者交流会を開催しています。参加できない方には個別に自宅へ訪問し、避難者の孤立防止と生きがいづくり・健康維持などのサポートを行っています。

全てを解決することはできませんが、何が出来るかを一緒に考え、心穏やかに安心して暮らせるお手伝いができればと思っています。

今後は「避難者」という枠を外して、地域の方と一緒に、いろいろな分野の趣味を広げる活動を進めていきますので、興味のある方はぜひご参加ください。

代表：鈴木 奈津子



絵手紙教室コスモスの会

私達、コスモスの会は、毎月第3土曜日真岡市西分館（午前10時から午後12時）で会員13名で活動しています。

見たまま、感じたままを素直に「下手でいい、下手がいい」の講師の言葉を大切に気持ちが伝わることを目標に描いています。大小さまざまな紙、Tシャツやはがき、ハンカチ、布バック、うちわなどを画材に季節の草花や野菜、果物などを描き「元気いっぱい今が旬」や「無理しないであるがままに」などの温かい言葉が添えられて素敵な作品へと生まれ変わります。何事も「継続は力なり」を合言葉に、切磋琢磨しながらこれからも学び合いたいと思います。

代表：宮部 みさ子



真岡市市民活動推進センター コラボーレもおか

〒321-4507

栃木県真岡市石島893-15 真岡市二宮コミュニティセンター2F

T E L : 0285-81-5522

F A X : 0285-81-5558

e-mail : collabo@trad.ocn.ne.jp

U R L : <http://www.collabo-moka.net/>

【開館時間】火～金：9:00～21:00

（土・日は18:00まで）

【休館日】・毎週月曜日 ・祝日

・年末年始（12/29～1/3）

※その他イベント・施設管理の関係で臨時に休館になる場合があります。



◀コラボーレもおか
イメージキャラクター
コラちゃん(左)と
ポ〜れくん(右)

